

EP8000 POWER6 570 ファームウェア変更内容と来歴

	変更内容
EM350_166	<p data-bbox="357 398 903 421">Impact: Availability                      Severity: HIPER</p> <p data-bbox="357 456 959 479">全てのシステムに影響するシステムファームウェア変更</p> <ul data-bbox="357 488 1417 792" style="list-style-type: none"> <li>• HWMC でパーティションを削除する際、エラーコード 0x4000E002 とメッセージ“insufficient memory for PHYP”が表示され、削除が失敗する問題を修正しました。</li> <li>• HWMC により管理されているシステムで、パーティションを削除した後、HWMC 上で、システムが“incomplete”状態となる問題を修正しました。</li> <li>• HWMC により管理されるシステムで、パーティション作成に失敗した場合、ハイパーバイザが整合性のない状態になる問題を修正しました。</li> <li>• HWMC により管理されるシステムで、ハイパーバイザが応答しくなくなり、システムが HWMC 上で“incomplete”状態になる問題を修正しました。</li> <li>• HWMC とサービスプロセッサ間の通信にかかわる、複数のセキュリティ脆弱性の問題を修正しました。</li> </ul> <p data-bbox="357 828 983 851">一部のシステムに影響するシステムファームウェアの変更</p> <ul data-bbox="357 860 1417 1541" style="list-style-type: none"> <li>• 冗長化サービスプロセッサがあるシステムで、両サービスプロセッサ間でデータを同期している間、メールボックス機能で不正なポインタリファレンスが行われる問題を修正しました。不正なポインタのデリファレンスにより、サービスプロセッサのコアダンプやリセット/リロード、フェールオーバを引き起こす場合があります。</li> <li>• 拡張装置 (THE-7000FC5802 または THE-C7001FC5802 I/O ドロワ) が接続されているサーバの起動中に、サーバがハングアップする問題を修正しました。この事象が発生すると、サーバは起動できません。</li> <li>• 拡張装置 (THE-7000FC5802 または THE-C7001FC5802 I/O ドロワ) が接続されているシステムで、I/O ドロワの電源ユニットの障害が、電源ユニットのマイクロリセットや電源ユニットの交換で回復したにもかかわらず、障害を報告し続ける問題を修正しました。</li> <li>• 拡張装置 (THE-7000FC5802 または THE-C7001FC5802 I/O ドロワ) が接続されているシステムで、ドロワの電源電圧レベルの異常をエラー報告せず、電源の冗長性が失われたことを検知できない問題を修正しました。</li> <li>• 拡張装置 (THE-7000FC5802 または THE-C7001FC5802 I/O ドロワ) に搭載した PCI アダプタを Virtual I/O Server (VIOS) に割り当て、さらに装置本体に搭載した I/O アダプタを VIOS に割り当てたシステムで、システムがエラーコード B700F103 でクラッシュする問題を修正しました。</li> <li>• Live partition Mobility (LPM) の操作を行っているシステムで、メモリリークにより、run time abstraction service (RTAS) が、エラーコード 0c20 でパーティションランタイムの AIX のクラッシュを引き起こす問題を修正しました。</li> <li>• Live Partition Mobility (LPM) を実行しているシステムで、以下の手順を実行するとパーティションがクラッシュする問題を修正しました。</li> </ul> <p data-bbox="405 1550 475 1572">[手順]</p> <ol data-bbox="405 1581 1417 1760" style="list-style-type: none"> <li>1. パーティションに 1 以上の dedicated のプロセッサを割り当て、使用させる</li> <li>2. LPM を使用して、POWER6 から POWER7 へパーティションを移動させる</li> <li>3. 移動後、Dynamic Logical Partitioning (DLPAR) 操作を使用して、1 以上 dedicated のプロセッサを削除する。</li> <li>4. LPM を使用して、別のプラットフォームへパーティションを移動させる。または hibernation 機能によりパーティションを再開させる。</li> </ol> <ul data-bbox="357 1769 1417 2116" style="list-style-type: none"> <li>• Live Partition Mobility (LPM) により POWER6 から POWER7 への移動が成功した後、POWER7 システム上で、AIX コマンド“uname -m”の出力がおかしくなる問題を修正しました。</li> <li>• Virtual I/O Server (VIOS) 2.2.2.0 以降のシステムへパーティションの移動を行っている間、移動されるパーティションがリポートする問題を修正しました。また、これより古い VIOS バージョンのシステムへ移動する場合、手動でパーティションのリポートをする必要があり、移動のリカバリも必要になる場合があります。</li> <li>• 共有プロセッサを使用するパーティションがあるシステムで、I/O デバイスの応答が遅延したり、タイムアウトしたりする可能性がある問題を修正しました。</li> <li>• Active Memory Sharing (AMS) プールのサイズを減らす操作による、logical memory block (LMB) の内容の再配置中に、メモリに回復不能なエラーが起きると、予測不能な動作をする可能性がある問題を修正しました。</li> <li>• Distributed Host Control Protocol (DHCP) により、動的に IP アドレスを割り当てているシ</li> </ul>

	<p>システムで、DHCP クライアントプロセスが新しい IP アドレスの割り当てを失敗したとき、通信がハングアップする問題を修正しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複数のブートパーティションを持つディスクデバイスがあるシステムで、System Management Services (SMS) で 1 つのブートパーティションしか表示しない問題を修正しました。</li> <li>ブートできるデバイスが多数あるパーティションで、ブートが失敗し、エラーコード BA210000 が記録される問題を修正しました。</li> <li>仮想ファイバチャネルテープドライブからのブートが、エラーコード B2008105 で失敗する問題を修正しました。</li> <li>AIX を使用しているシステムで、InfiniBand Host Channel Adapter (HCA) が障害、または機能低下している場合、AIX が強制終了する問題を修正しました。</li> </ul>
EM350_118	<p>Impact: Availability                      Severity: HIPER</p> <p>全てのシステムに影響するシステムファームウェア変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電源を OFF/ON 後の再起動時にシステムが停止する問題を修正しました。</li> <li>ASMI で、(System Information option の下で) HMC オプションが選択されたとき、“IPL: 500 - Internal Server Error”メッセージが表示する問題を修正しました。</li> <li>サービスプロセッサまたはその電池を交換後に、システムパーティションの日付が 1969 年に戻る問題を修正しました。これは、ASMI でサービスプロセッサの TOD クロックを正しく設定しても発生します。</li> <li>4096 以上の仮想スロットを持つパーティションの移動操作ができない問題を修正しました。</li> <li>システム電源オフ中に、ASMI の power off/on メニューを設定変更したとき、“500 - Internal Server Error.”メッセージが表示される問題を修正しました。</li> <li>HMC からのファームウェアインストールで、“do not auto accept”オプションの選択ができない問題を修正しました。</li> <li>拡張エラーログデータの一部が誤って解析される問題を修正しました。この問題は、システムに多くのデコンフィグコンポーネントを持っているときに発生します。</li> <li>パーティション ID: 1 において、VIOS の VLAN (virtual LANs) が SMS メニューの“bootable devices”として表示されない問題を改良しました。</li> <li>HMC が、ASMI メニュー使用中に継続して繋がらない問題を改良しました。</li> <li>サービスプロセッサの時刻が早い時間に合わせられたとき、タイマー起動機能によるシステム電源オン時間が正しく設定されない問題を修正しました。この問題は、例えば、秋に夏時間が終了し、時計が元に戻される時発生する可能性があります。</li> <li>サービスプロセッサファームウェア障害のいくつかのエラーログエントリで、重要度が“predictive”のものを誤って“informational”としてしまう問題を修正しました。</li> <li>ASMI 上で HMC2 のポートの IP アドレスが、“dynamic”でなく初期設定値の“static”に誤って戻る問題を修正しました。</li> <li>SRC B181EF7C で、ファームウェアインストールが失敗する問題を修正しました。</li> <li>DLPAR (dynamic LPAR) オペレーションで、プロセッサリソースが他のパーティションに移動できない問題を修正しました。</li> <li>パーティションをブートできない問題を修正しました。</li> <li>ファームウェアで、HMC GUI のパーティションプロファイルでアダプタ情報を表示するときの接続デバイスリストを改良しました。</li> <li>p6 から p7 パーティションへの移行が成功した後でターゲットパーティションがクラッシュする問題を修正しました。可能性のある AIX エラーログエントリは以下の通りです：ラベル：DSI_PROC, リソース：SYSVMM, 表示：“DATA STORAGE INTERRUPT, PROCESSOR”. 他にもパーティション関連のクラッシュログが記録されるかもしれません。</li> <li>パーティション移行が成功した後で AIX エラーログがエントリされる問題を修正しました。可能性のある AIX エラーログエントリは以下の通りです：ラベル：RTAS_ERROR, リソース：sysplanar0, 表示：“INTERNAL ERROR CODE”. 他にもエラーが記録される可能性があります。</li> <li>リブートを行わずに、パーティションのマイグレーションを数回行った場合に、SRC BA330002 が採取されてパーティションがクラッシュする問題を修正しました。</li> <li>AIX エラーログで複数の DR_DMA_MIGRATE_FAIL が採られる問題を修正しました。</li> <li>パーティション移行またはパーティション休止のオペレーションで、パーティションが“suspending”状態のままハングアップする問題を修正しました。</li> <li>SRC B1768B76 のログを“unrecoverable”の代わりに“informational”に変更するファームウェアの改良をしました。</li> <li>プラットフォームが応答しない問題を修正しました。これは HMC 上で、不完全な状態で示されます。この問題が発生すると、パーティションは管理システムに応答しません。</li> <li>管理システムが HMC 上で不完全な状態になる問題を修正しました。</li> <li>セカンダリサービスプロセッサでバッテリーのリプレースが必要なことを通知できない問題を修正しました。</li> <li>9117-MMA (Power570) システムにおいて、電源 FAN の問題を報告する改善により、計画外のシステム停止の可能性を減らすよう改良しました。</li> <li>HMC がサーバの状態を incomplete と表示して、SELFHMCMTASK に対して SRC:B7000602 が記録される問題を修正しました。この問題は、システムクラッシュを引き起こす可能性があります。</li> </ul>

- ハイパーバイザからサービスプロセッサのインシヤル reset/reload を発行した後で、サービスプロセッサの reset/reload とフェールオーバが繰り返される問題を修正しました。この問題によってサービスプロセッサとハイパーバイザ間のコミュニケーションが失われます。(SRC:B182951C が採取されます)
- CPU ドロワが 3 台あるいは 4 台の 9117-MMA(Power570) システムにおいて、3.4 台目のドロワの電源 FAN が、外気温に従った適正な回転数にならない問題を修正しました。
- SRC:B181D30B を予測(predictive)ではなく、情報(informational)として記録するように修正しました。
- HMC の GUI 画面上でパーティションプロファイルのアダプタ情報を表示する際に、接続されているデバイスがリストされるよう改良しました。
- ハイパーバイザが、サービスプロセッサに対して連続的に reset/reload の要求を発行し続ける問題を修正しました。

一部のシステムに影響するシステムファームウェアの変更

- COD (capacity on demand) 機能を使ったシステムで、Activation\_Code の Sequence\_Number が特定の値に達したとき、ハイパーバイザが正しい使用時間をクレジットしない問題を修正しました。
- I/O ドロワ (FC 5802) が接続され AMS(Active Memory Sharing) が稼働しているシステムで、ウォームブートまたは IPL プラットホームダンプ後に、SRC B170E540 を採取しシステムがクラッシュする問題を修正しました。
- 外付け I/O ドロワ接続システムで、SRC 10001B02、1000911C で ASSIST 通報するようにファームウェアを改良しました。
- 外付けインフィニバンドまたは PCI-E ドロワを使用したシステムで、I/O ハブアダプタが外付けドロワのインシヤライズ中にクラッシュした場合、SRC B7000103 でシステムクラッシュする問題を修正しました。
- VIOS 稼働システムが、SRC B700F103 でシステムクラッシュする問題を修正しました。
- shared processor partitions が稼働するシステムで、パーティションがハングアップする問題を修正しました。この問題は電源 OFF/ON まで回復しません。
- LHEA (logical host Ethernet adapter) ポートを使ったシステムで、LPORT (LHEA logical port) を使ったパーティションをアクテベーションすると、HMC がシステムの状態を "Incomplete" と示し、C2008104 でハングアップする問題を修正しました。
- I/O 拡張ドロワ (FC5802) が接続されているシステムにおいて、I/O ドロワのリペアが行われたとき、誤って SRC10003144 または 10003154 が記録される問題を修正しました。
- COD (capacity on demand) 使ったシステムで、エラーログがラップアラウンドして SRC データ "predictive", "unrecoverable" が失われて、SRC B7005300 (informational ) が複数回記録される問題を修正しました。
- I/O ドロワ (FC5802) 接続システムにおいて、HMC からの装置電源 ON 操作がタイムアウトし、インフォメーションレベルの SRC 10009107 が採取される問題を修正しました。この問題は、以下に該当する場合に発生します。
  - ASMI の SPCN firmware update policy が "Enabled" (初期値かつ推奨値) ではなく "Expanded" に設定されている。
- I/O ドロワの電源ファームウェアを SPCN ケーブル経由でインストールしている。
- 場内テストにより、AMS(Active Memory Sharing) パーティションで mobility 操作が実行されたとき、検出されない潜在的データ破壊が発生する可能性があることがわかりました。この問題はファームウェアの不具合により、まれに発生する場合があります。また、この問題は場内テスト中に発見されましたが、顧客システムで発生した事例は報告されていません。しかし、この問題が発生する可能性のある EM340\_075 または EM350\_103 以前のファームウェアで稼働しているシステムは、更新することを推奨します。(ファームウェアレベル EM340\_075 より古いレベルは問題ありません。)
- 本体に PCI-E アダプタが搭載され、I/O ドロワ (FC5802) も接続されているサーバにおいて、ページマイグレーション中に SRC : B700F103 が採られシステムがクラッシュする問題を修正しました。
- I/O ドロワ (FC5802) 接続システムで、パーティションがページマイグレーション中にクラッシュする問題を修正しました。
- リブートを行わずに、パーティションのマイグレーションを数回行った場合に、SRC BA330002 が採取されてパーティションがクラッシュする問題を修正しました。
- p6 から p7 へのパーティション移動時に AIX のライセンスに関する問題を修正しました。
- FC5802 IO ドロワが接続されているシステムにおいて、その I/O ドロワの電源 (offline converter assembly:OCA) が 1 台しか動作していなくても電源をオンできるように修正しました。
- IPV6 アドレスを使用するシステムにおいて、valid link local アドレスと unique link local アドレスを誤って無効にする問題を修正しました。この問題によって、そのアドレスが割り当てられたポートから、ネットワークブートやネットワークインストールができなくなります。

コンカレントメンテナンスのファームウェア修正

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ I/O ドロワ (FC5802)が接続されているシステムで、ウォームブートまたは IPL プラットホームダンプ後に、SRC B170E540 を採取しシステムがクラッシュする問題を修正しました。</li> <li>・ HEA(host Ethernet adapters)が、稼働時ノード追加で“nonfunctional state”になる問題を修正しました。</li> <li>・ ノードのリペア処理後、SRC B70069D9 で、HEA(host Ethernet adapter)の failure を示すログが非同期に採られる問題を修正しました。</li> <li>・ ノード A において、稼働時ノードアップグレード (メモリ)、またはノード修理中に、SRC B170E540, B181F02D , B700F103 でシステムクラッシュとなる問題を修正しました。</li> </ul>
EM350_071	<p>Impact: Serviceability                      Severity: HIPER</p> <p>全てのシステムに影響するシステムファームウェア変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SRC B181E911 が誤って生成され、サービスプロセッサダンプが不必要に採られて ASSIST 通報される問題が修正されました。</li> <li>・ HMC で管理されたシステムにおいて、HMC から管理システムが“Incomplete”の状態に見え、多くのサービスプロセッサダンプが生成される問題が修正されました。</li> <li>・ F/C 7387, 7388 または 7540 プロセッサを持つ 9117-MMA システムにおいて、SRC B113E504(SRC word 8=074B001F, 0197001F)を引き起こす問題が修正されました。</li> <li>・ 別の方法によって IPL 速度が変更されたとき、コントロール(オペレータ)パネルの IPL 速度が同時に更新されるようにファームウェアがエンハンスされました。</li> </ul> <p>一部のシステムに影響するシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ F/C 5802 または F/C 5877 I/O ドロワが接続されたシステムにおいて、ドロワをパワーオフしたり、A/C パワーをオフ/オンしたとき、SRCs 10001510, 10001512, 10001520, 10001521 が誤って記録されないようにファームウェアがエンハンスされました。</li> <li>・ 冗長サービスプロセッサのシステムにおいて、SRC B181E617 が誤って記録され、サービスプロセッサダンプが不必要に生成される問題が修正されました。</li> <li>・ F/C 5802 または 5877 I/O ドロワが接続され、ドロワの中にブートデバイスを持つシステムにおいて、5802 または 5877 ドロワとシステムを接続する GX アダプタ、または、GX アダプタを含むノードのコンカレントリペア後、パーティションのブートが妨げられる問題が修正されました。</li> </ul> <p>コンカレントメンテナンスのファームウェア修正</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回のコンカレントメンテナンソペレーションが完了する前に HMC がリポートされていた場合、コンカレントメンテナンソペレーションが失敗する問題が修正されました。</li> </ul>
EM350_049	<p>Impact: Serviceability                      Severity: HIPER</p> <p>新フィーチャーと機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 12X 接続された 19 インチ I/O ドロワのコンカレント除去をサポートしました。</li> <li>・ 19 インチ I/O ドロワ F/C 5802 のディスクレスバージョンである F/C 5877 をサポートしました。</li> <li>・ USB 接続のリムーバブル HDD を使ったハーフハイト 5.25 インチバックアップデバイスをサポートしました。</li> <li>・ 混乱を起こさせないプラットホームダンプをサポートしました。</li> <li>・ VIOS パーティションで i5/OS マルチパスストレージ I/O をサポートしました。</li> </ul> <p>全てのシステムに影響するシステムファームウェア変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ F/C 5802, 5877 (19 インチラック用) ,5803, 5873 (24 インチラック用) の I/O ドロワが接続されたサーバにおいて、AIX 稼働中にシステムがクラッシュする問題が修正されました。</li> <li>・ ホストイニシエイティッドリセットによって生成されるサービスプロセッサダンプが記録できない問題が修正されました。</li> <li>・ SRC 10009135 に続いて 10009135 が誤って記録される問題が修正されました。これらの SRC は SPCN ループが中断されたことを示し、それからすぐ再確立する。</li> <li>・ ある稀な条件下で、パーティションがシャットダウン中にハングする問題が修正されました。</li> <li>・ SRC B182953C, B182954C, B17BE434 が記録されてシステムがハングする問題が修正されました。</li> <li>・ 12X InfiniBand I/O ドロワのケーブリングエラーをよりよく検出して処理するようにファームウェアがエンハンスされました。</li> <li>・ ある稀な条件下で、PCIe スロットのページマイグレーションが発生したとき、システムが無反応となりハングする問題が修正されました。</li> <li>・ コンカレントメンテナンソ操作中に多くの I/O ループエラーが記録されたとき、コンカレントメンテナンソ操作の失敗を繰り返す問題が修正されました。</li> <li>・ 4GB よりサイズの大きいシステムダンプを処理するためにファームウェアがエンハンスされました。</li> <li>・ システムファームウェアリリース EL340 で稼働中のシステムにおいて、プラットフォームがリ</li> </ul>

	<p>ブートされるまで、メモリの DLPAR 操作に失敗する問題が修正されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ F/C 5732, 5735, 5769 PCI-E アダプタの性能を改善するために、ファームウェアがエンハンスされました。</li> <li>・ "Exception encountered while rendering panel as HTML" のメッセージで HMC の R&amp;V 操作に失敗する問題が修正されました。</li> <li>・ SRCs B181F126, B181F127, B181F129 が正しく記録され、不要なコールホームが生成さないように、ファームウェアがエンハンスされました。</li> <li>・ ASMI のメモリディコンフィグレーションスクリーンで、メモリがディコンフィグされた理由をより正確に説明するために、ファームウェアがエンハンスされました。</li> </ul> <p>一部のシステムに影響するシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仮想 SCSI や仮想ファイバーチャネルアダプタが DLPAR 操作で追加されたとき、OS がブート可能でないように見える問題が修正されました。</li> <li>・ IBM i が稼働中のシステムにおいて、SRC 576B8301 でファイバーチャネルデバイスからの OS ブートに失敗する問題が修正されました。</li> <li>・ F/C 5802, 5877 I/O ドロワが接続されたシステムにおいて、その I/O ドロワにインストールされた 4 ポートイーサネットアダプタ F/C 5272, 5275, 5279, 5280, 5525, 5526, 5527 の性能に影響を与える問題が修正されました。</li> <li>・ AIX または Linux が稼働中のパーティションにおいて、DLPAR の追加操作を使ったパーティションへの I/O スロットの追加に失敗する問題が修正されました。</li> <li>・ 共有プロセッサを持つシステムにおいて、パーティションがハングして非常に短い間、無反応になる問題が修正されました。</li> <li>・ IPv6 と DHCP が有効にされたとき、ASMI のネットワークコンフィギュレーションスクリーンに IPv6 の DHCP アドレスが表示されることを妨げる問題が修正されました。これは eth0.30 や eth0.31 のような仮想 LAN (VLAN) を持つシステムで、IPv6 アドレスが eth0.xx インタフェースに付与されたときのみ発生する。</li> <li>・ 冗長 VIOS パーティションが稼働中のシステムにおいて、イーサネットトラフィックが 2 つのパーティション間で適切にブリッジされることを妨げる問題が修正されました。この問題はまた共有イーサネットアダプタのフェールオーバが正しく動作することを妨げます。</li> </ul> <p>コンカレントメンテナンスのファームウェア修正</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 冗長サービスプロセッサのコンカレントリペアを妨げる問題が修正されました。</li> <li>・ ノード 0 が排除された後に CoD または VET のアクティベーションコードが入力され受け付けられると、システムの振る舞いが予測不能になる問題が修正されました。もし、ノード 0 の排除に失敗していたら、システムダンプが採取されてメモリプリザービング IPL が開始され、予測不能なマシンの振る舞いが発生するかもしれません。</li> <li>・ ノード排除後のコンカレントメンテナンス操作に失敗する問題が修正されました。この問題が発生したとき、システムはプラットフォームメモリダンプが未完であると誤って指定します。</li> <li>・ コンカレントメンテナンス操作が成功して完了することを妨げる問題が修正されました。</li> <li>・ コンカレントメンテナンス操作に 60 分以上かかったとき、SRC B181A494 が誤って記録される問題が修正されました。</li> <li>・ 4CPU ドロワのシステムにおいて、サービスプロセッサがリセット/リロードされることによって、4 番目の CPU ドロワのコンカレントメンテナンスに失敗する問題が修正されました。</li> </ul>
EM340_101	<p>Impact: Function    Severity: HIPER</p> <p>全てのシステムに影響するシステムファームウェア変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ メモリバスに対して誤って記録されるコレクタブルエラーの数を減らすためにファームウェアがエンハンスされました。この問題が発生したとき、SRC B124E504 が記録されます。</li> <li>・ SRCs B181F126, B181F127, B181F129 が正しく記録され、不要なコールホームが生成さないようにファームウェアがエンハンスされました。</li> <li>・ この修正は特有の大量にチューニングされた HPC アプリケーションの上で生成される特定のプロセッサインストラクションシーケンスの処理を訂正します。この特定のインストラクションシーケンスは誤った結果を生成する可能性を持っています。このインストラクションシーケンスは単一の HPC アプリケーションで見られるだけです。しかしながら、この修正の適用を強く推奨します。</li> </ul> <p>一部のシステムに影響するシステムファームウェアの変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ F/C 5802 または 5877 ドロワが接続されたシステムにおいて、ノードのコンカレントメンテナンスが妨げられる問題が修正されました。</li> <li>・ F/C 5802 または 5877 ドロワが接続されたシステムにおいて、特定の条件下で、I/O スロットパワー LED が 5802 または 5877 ドロワの I/O スロットの状態を正確に反映できない問題が修正されました。</li> <li>・ システムファームウェア EL340_075 でアクティブメモリシェアリングを実行中のシステムにおいて、パーティションに 24 個より多くの仮想プロセッサが割り当てられていると、SRC</li> </ul>

	<p>B700F103 でパーティションがブートに失敗するかもしれない問題が修正されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ システムファームウェア EL340_075 でアクティブメモリシェアリングを実行中のシステムにおいて、PowerVM Mobility を使って、あるシステムから他のシステムへパーティションを移動した後に、パーティションが I/O の権利を失うかもしれない問題が修正されました。</li> <li>・ システムファームウェアリリース EM340 で稼働中のシステムにおいて、修復が完了した後に (失敗した I/O アダプタまたはドロワを修復するコンカレントメンテナンス操作の一部として) ノードの回避操作が実行された場合、I/O 性能が低下するかもしれない問題が修正されました。</li> <li>・ 外部の I/O タワーを持つシステムにおいて、あるタイプのハードウェア障害によって SRC B7006981 が記録されたとき、システムがクラッシュしないようにファームウェアがエンハンスされました。</li> </ul>
EM340_075	<p>Impact: Function                          Severity: Special Attention</p> <p>新機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ FC5802(19 インチ I/O ドロワ), FC5803(24 インチ I/O ドロワ)をサポートしました。</li> <li>・ このファームウェアレベルがインストールされた後、プラットフォームは 5802, 5803 I/O ドロワをシステムへ追加する前にパワーオフ・オンされなければならない。</li> <li>・ POWER VM アクティブメモリシェアリングをサポートしました。</li> <li>・ このファームウェアレベルがインストールされた後、プラットフォームは POWER VM アクティブメモリシェアリング機能を活性化するためにパワーオフ・オンされなければならない。</li> <li>・ EM340_075 がインストールされて新しい POWER VM アクティブメモリシェアリング機能が活性化された状態でシステムファームウェアを旧レベルにしたいときは、システムファームウェアを旧レベルにする前に、アクティブメモリシェアリングプールを非活性化し、削除しなければならない。IBM はシステムファームウェアの旧レベルを推奨しない。</li> <li>・ モデル 8234-EMA をサポートしました。</li> <li>・ 8 Gbit ファイバーチャネルアダプタ FC5735 をサポートしました。</li> <li>・ バーチャルタイプデバイスをサポートしました。</li> <li>・ USB フラッシュメモリストレージデバイスをサポートしました。</li> <li>・ サービスプロセッサファームウェアで IPv6 をサポートしました。</li> <li>・ ハイパーバイザで 3 つのタイプのハードウェアパフォーマンスモニタをサポートしました。</li> <li>・ IVM を使用した AIX, Linux のインストールをサポートしました。</li> <li>・ サービスプロセッサファームウェアに CIM 電力計器の使用が追加サポートされました。</li> <li>・ 動的に電圧や周波数を殺すことを含んだ電力管理エンハンスをサポートしました。</li> <li>・ dual-core module (DCM) プロセッサのプロセッサカードをサポートしました。このプロセッサカードを使うことにより MMA の最大構成は 32 プロセッサとなります。</li> <li>・ 温度と電力管理デバイスハードウェアを持つシステムにおいて、ソフト電力キャップが追加サポートされました。</li> <li>・ hot/cold ノード交換と同じように、プロセッサノードの稼働時追加をサポートしました。</li> </ul> <p>全てのシステムに影響するシステムファームウェア変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 早期パワーオフ警告 (EPOW) タイプ 5 の AIX エラーログエントリの最後の詳細データが、ゼロの代わりに不正なデータで満たされる問題が修正されました。</li> <li>・ プライマリとセカンダリのサービスプロセッサ間の同期に必要なファイルの全てが妨害される問題が修正されました。この問題の一つの可能な徴候としてサービスプロセッサフェイルオーバーの後に TOD クロックが同期しなくなります。</li> <li>・ プロセッサバックプレーンの VPD にアクセス中に I2C バスエラー発生した場合にコールアウトされる FRU のリストにプロセッサカード#1 が含まれるようにファームウェアがエンハンスされました。</li> <li>・ 稼働中に SRC B1818601 が記録され、サービスプロセッサダンプが生成される問題が修正されました。</li> <li>・ ASMI によって表示される空きの GX アダプタスロットの数が不正になる問題が修正されました。</li> <li>・ MMA システムのファーストドロワにおいて、緑色のパワーオン LED の代わりに橙色のアテンション LED が点灯する問題が修正されました。</li> <li>・ プライマリサービスプロセッサがブートに成功した後、セカンダリサービスプロセッサがハングしていた場合、プレディクティブエラーが記録されて、通報されるようにファームウェアがエンハンスされました。</li> <li>・ メモリ障害が発生したとき、サービスプロセッサの診断でアンコレクタブルメモリエラーの代わりに TOD オーバーフローエラーが報告される問題が修正されました。</li> <li>・ システムのブート中に冗長性を有効にしようと試みたとき、プレディクティブの代わりにインフォメーションとしてエラーログが記録されるようにファームウェアがエンハンスされました。</li> <li>・ ハイパーバイザの問題で "terminate immediate" の割り込みが上がり通報されるようにファームウェアがエンハンスされました。</li> <li>・ 正当なネットワークセットアップエラーが検出されたとき、SRC B1A38B24 だけが記録されるよ</li> </ul>

- うにファームウェアがエンハンスされました。この SRC のコールアウトもまた改善されました。
- サービスプロセッサの 2 つのイーサネットインタフェースが同じサブネットである時(これは不当な構成である)、SRCs B181720D, B1818A13, B1818A0F およびサービスプロセッサダンプが時々生成されないようにファームウェアがエンハンスされました。
- システムがサービスプロセッサ待機状態で GX アダプタスロットの予約が試みられたとき、ASMI メニューが無応答になり、システムがハングする問題が修正されました。
- メモリ障害が発生したとき、サービスプロセッサの診断でアンコレクタブルメモリエラーの代わりに TOD オーバーフローエラーが報告される問題が修正されました。
- ファームウェアフラッシュの Temporary 側が不正だったとき、サービスプロセッサが Permanent 側から自動的にブートしない問題が修正されました。この問題が発生したとき、サービスプロセッサは Permanent 側からブートする代わりに停止します。
- システム稼働中にプロセッサが動的に切り離されたとき、システムがクラッシュするかもしれない問題が修正されました。システムがシステムファームウェアのリリース EM340 で稼働中の場合、この問題はコンカレントメンテナンス操作中にも発生する。
- アンカーカードの VPD データ不正が、アンカーカードを交換しなくても、ファームウェアによって修正されるようにファームウェアがエンハンスされました。
- ASMI メニューで "reset to factory settings" オプションが選択された後、システムのパワーオンが妨害される問題が修正されました。
- フラッシュメモリの bad bits を回復させるサービスプロセッサの機能を改善するためにファームウェアがエンハンスされました。もしコレクタブルまたはアンコレクタブルエラーの数が閾値を超えた場合、システムファームウェアを含んでいるカードに対して、プレディクティブエラーまたはアンリカバブルエラー記録されるだろう。
- システムファームウェアのディスラプティブインストール中にレジストリーリードエラーを示す B1818A1E のような SRC が記録され続ける問題が修正されました。
- パーティションの移動が移動先のシステムをクラッシュさせる問題が修正されました。
- システムファームウェアのリリース EL340 を実行中のシステムにおいて、パーティション移動が成功した後に、移動元のシステムで VIOS のエラーログの記録が中断される問題が修正されました。
- ファームウェア補助ダンプが有効なとき、パーティションを移動すると移動先のシステムが応答しなくなる問題が修正されました。
- SRC BA210012 がログされたとき、通報が発生しないように、ファームウェアがエンハンスされました。
- サービスプロセッサの冗長性を無効にしたシステムをブートしたときに記録される SRC B181E6ED のコールアウトは、ファームウェア不良のコールアウトではなくて冗長性が無効にされたことを示すために改善されました。
- プライマリとセカンダリのサービスプロセッサ間の同期に必要なファイルの全てが妨害される問題が修正されました。この問題の一つの可能な徴候としてサービスプロセッサフェイルオーバーの後に TOD クロックが同期しなくなります。
- ASMI の power on/off メニューでデフォルトパーティション環境を "i5/OS" に設定したとき、ブランクになる問題が修正されました。
- 電源ボタンを 2 回素早く押したときのように無効な状態変化を識別する SRC B1xx3409 が、プレディクティブの代わりにインフォメーションとして記録され、通報されないようにファームウェアがエンハンスされました。
- たとえシステムのオペレーションに影響がなかったとしてもサービスプロセッサダンプが採られて SRC B181EF88 が記録される問題が修正されました。
- ある稀な条件下で SRC B181E411 が記録されて通報が飛び、サービスプロセッサダンプが採られる問題が修正されました。
- SRC B1812224 は、ブート中にユーザが redundancy をイネーブルにしようとしたことを示しますが、これを予報的なログではなくインフォメーションとするようにエンハンスしました。
- セカンダリサービスプロセッサ上のエラーエントリが、HMC 上のサービスイベントで生成されなくなる問題が修正されました。
- TTY ターミナルから ASMI メニューにアクセスしたとき、いくつかのサービスプロセッサエラーログが採られる問題が修正されました。
- マシンチェックの問題ではなく、I/O ロードタイムアウトによってシステムがクラッシュすることからシステムを回復させるためにファームウェアがエンハンスされました。
- メモリ障害が発生したとき、アンコレクタブルメモリエラーの代わりに TOD オーバーフローエラーがサービスプロセッサに報告される問題が修正されました。
- 特定の構成で DLPAR の操作中に HEA ポートが Fail して除去される問題が修正されました。
- ある条件下で、一時的な EEH エラーが発生したとき、PCI-E アダプタの回復から OS が妨害される問題が修正されました。
- 稼働時交換で泥輪を追加した後に、HMC 殻見た管理対象システムのステータスが Incomplete になる問題が修正されました。
- フラッシュメモリの不正なビットをリカバーする、サービスプロセッサの可用性を向上させるようエンハンスしました。コレクタブル・アンコレクタブルエラーの数が、予報的なエラーまたは回復不可能なエラーを、システムファームウェアを内蔵するカードに対してログを上げま

す。

- ・ ハイパーバイザの問題で即座に終了する割り込みが上がると通報されるようにファームウェアがエンハンスされました。
- ・ パーティション移動に成功した後、サービスプロセッサとハイパーバイザのエラーログが OS に報告される問題が修正されました。この問題は移動したパーティションにだけ影響します。
- ・ 冗長サービスプロセッサ構成のシステムで redundancy がディスエーブルの状態ではブートされると、不正なコールホームが通報される問題が修正されました。
- ・ ファームウェア補助ダンプが有効なとき、AIX や Linux パーティションの移動に失敗する問題が修正されました。この問題が発生したとき、ターゲットシステムのパーティションが応答しなくなり、回復するためにリブートするかもしれない。

#### 一部のシステムに影響するシステムファームウェアの変更

- ・ プロセッサクラスタリングのためのインフィニバンドスイッチを使用したシステムにおいて、ある条件下でバケットが途絶える問題が修正されました。
- ・ 900 以上の定義済み仮想スロットを持つパーティションを、ファームウェア EL320 で稼働中のシステムから EL340 で稼働中のシステムへ移動すると失敗する問題が修正されました。
- ・ ファームウェアリリース EL340 で稼働中のシステムにおいて、プラットフォームダンプのデータが不正になる問題が修正されました。
- ・ 外部ドロワまたはタワーを持つシステムにおいて、SRC xxxx6981, xxxx6982 または xxxx6985 が記録される問題を修正しました。この問題が発生したとき、いくつかの I/O スロットは資源リストから抜けるかもしれません。
- ・ 一時的な On/Off メモリ CoD を使用したシステムにおいて、AIX のイベントリスカウトのように他のツールでメモリ CoD インタラクションを改善し、請求プロセスを容易にするために、ファームウェアがエンハンスされました。
- ・ 2 つのハードウェア管理コンソールを持つシステムにおいて、2 つのハードウェア管理コンソールが同じサブネットである時(これは不当な構成である)、サービスプロセッサダンプが生成されてもシステムがリスタートしないようにファームウェアがエンハンスされました。
- ・ 外部の I/O ドロワを持つシステムにおいて、システムが warm リブート中に C700406E のチェックポイントでハングアップする問題が修正されました。
- ・ 仮想ファイバーチャネルディスクを持つシステムにおいて、仮想ファイバーチャネルサーバがそれらのいくつかのリザーブされたと報告した場合、SMS に仮想ファイバーチャネルディスクが表示されない問題が修正されました。
- ・ F/C 7540 (POWER6, 64-bit, 4.2 GHz, four core processor)内蔵の 9117-MMA モデル、全 8234-EMA モデルで、サービスプロセッサの reset/reload 後にプロセッサがチェックストップする問題が修正されました。SRC B181D15F や B181E911 や B150B145 のログが採られることがあります。そして障害発生サービスプロセッサダンプが採られていることがあります。
- ・ 統合された xSeries アダプタ (IXA) を持つシステムにおいて、HMC のシステムプランの生成を妨げる問題が修正されました。
- ・ 2008 年 5 月中旬以前のモデル MMA システムにおいて、ASMI の system keyword メニューで RB keyword0 の設定が妨げられる問題を修正しました。
- ・ host channel adapter (HCA) カードが複数あるシステムにおいて、HCA カード上のロジカルポートがインターミットに動作不能になる問題が修正されました。
- ・ タイムサーバを使用したネットワークにおいて、クライアントシステムが電力を失ったとき、クライアントシステムの日付が 1969 年にリセットされる問題が修正されました。
- ・ Linux パーティションに割り当てられた HEA または HCA を持つシステムにおいて、パーティションに 512GB, 1TB または 1.5TB のメモリが割り当てられているとパーティションがブートしない問題が修正されました。この問題が発生したとき、SRC B700F105 が記録されます。
- ・ host channel adapter (HCA) カードが複数あるシステムにおいて、HCA カード上のロジカルポートがインターミットに動作不能になる問題が修正されました。
- ・ 統合された xSeries アダプタ (IXA) を持つシステムにおいて、HMC のシステムプランの生成を妨げる問題が修正されました。
- ・ 冗長サービスプロセッサのシステムにおいて、システムファームウェアのインストール中に registry read エラーか registry value エラーが報告される問題が修正されました。
- ・ AIX パーティションを実行中のシステムにおいて、稼働中のファームウェア更新やパーティション移動の後に、LABEL フィールドが "INTRPPC\_ERR" で INTERRUPT LEVEL が "0009 0001" のハードウェアエラーが誤って記録される問題が修正されました。

#### コンカレントメンテナンスのファームウェア修正

- ・ コンカレントメンテナンส์操作のために非活性化されたノードでシステムファームウェアがインストールされたとき、SRC B150A422 が誤って記録され、ASMI から誤ってプロセッサコアが非構成に見える問題が修正されました。
- ・ コンカレントノードリペアまたはコンカレント GX アダプタリペア中に、SRC B181B171 が記録されてシステムがクラッシュする問題が修正されました。



	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 関連する I/O ハードウェアが異常状態にある場合、コンカレントノードリペア、コンカレント I/O 拡張ユニットリペア、コンカレント PCI スロットリペア、または、I/O スロットの DLPAR 移動に失敗するかもしれない問題が修正されました。</li> <li>• システムのヒュージページが 16GB で構成された場合、ホットノードアドまたはリペア操作に失敗する問題が修正されました。</li> <li>• システムファームウェアを EM330_xxx から EM340_xxx へアップグレードした後で EM340_061 のコンカレントインストールの操作をした直後にコンカレントノードアドまたはリペアの操作に失敗する問題が修正されました。</li> <li>• モデル MMA ドロワの I/O バックプレーンのコンカレントリプレースの後、ドロワ内のパーティションの資源がリペアされたとき、AIX プログレスコード 0581 でパーティションのリポートがハングする問題が修正されました。</li> <li>• システムファームウェアリリース EM340 で稼働中のシステムにおいて、GX I/O アダプタカードのホットアド中にシステムがチェックストップする問題が修正されました。</li> <li>• ホットドロワアドの操作を高速で実行すると、ドロワのファンがアドされる問題が修正されました。</li> <li>• コンカレントメンテナンス操作中に SRC B181A433 が記録されて停止する問題が修正されました。</li> <li>• ディスラプティブファームウェアインストールの直後にコンカレントメンテナンスオペレーションが無効となる問題が修正されました。</li> <li>• コンカレントドロワアドまたはコンカレントメモリアップグレード中に SRC B150D15E が誤って記録される問題が修正されました。</li> <li>• コンカレントファームウェアインストールの直後にコンカレントメンテナンスオペレーションが無効となる問題が修正されました。</li> <li>• ディスラプティブファームウェアインストールの後、B181A422 が記録されてコンカレントノードアドに失敗する問題が修正されました。</li> <li>• GX アドパーツの初期手順の中でプライマリサービスプロセッサのリセット/リロードが発生した場合、GX アダプタのコンカレントアドまたはリペアが妨害される問題が修正されました。</li> </ul>
EM320_083	<p>Impact: Serviceability                      Severity: HIPER</p> <p>全てのシステムに影響するシステムファームウェア変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ある稀な条件下で、アプリケーションがプロセッサのエラー状態を引き起こし、システムがクラッシュする問題が修正されました。</li> <li>• ある条件下で、システムがクラッシュする可能性を縮小するために、システム初期設定が変更されました。</li> <li>• SRC B131E504 でシステムが異常終了する問題が修正されました。</li> <li>• プロセッサ相互接続バス障害により、SRC B1xxE504 がログされた後、システムがリポートに失敗する問題が修正されました。同じ SRC B1xxE504 は、リポートに失敗したときにもログされます。</li> <li>• パーティション移行中、移行が完了する前に、パーティションがクラッシュする問題が修正されました。</li> <li>• システムファームウェアのインストールに成功した後、SRC B1818A10 が誤って生成される問題が修正されました。</li> <li>• あるタイプの TOD クロック回路構成の障害で、FRU をコールアウトするようにファームウェアがエンハンスされました。</li> <li>• ある稀な条件下で、L2 または L3 キャッシュ障害が発生し、システムがクラッシュする問題が修正されました。</li> <li>• サービスプロセッサダンプが採られるときに、/tmp の内容が含まれるようにファームウェアがエンハンスされました。</li> <li>• システムファームウェアのインストールに成功した後のスローブートで、予報的な SRC B181EF88 が誤ってログされる問題が修正されました。</li> <li>• ある稀な条件下で、SRC B7005191 がログされてシステムがクラッシュする問題が修正されました。</li> <li>• memory-preserving IPL 中にエラーが発生すると、システムがリポートを妨げる問題が修正されました。</li> <li>• パーティション移行後の処理が、AIX の診断コマンド(例えば、diag や lsmcode)を妨げる問題が修正されました。</li> <li>• ある稀な条件下で、パーティションがシャットダウンする、もしくは、SRC D200B077 でハングしパーティションがリポートする問題が修正されました。</li> <li>• ある稀な条件下で、ハイパーバイザがサービスプロセッサへの通信伝送路から外れて、SRC A181D000 がログされる問題が修正されました。</li> <li>• ある稀な条件下で、メモリの DLPAR 操作に失敗する問題が修正されました。</li> <li>• ある稀な条件下で、メモリの DLPAR 操作が完了する前に、I/O ハードウェアの操作が妨げられる問題が修正されました。これは、複数の SRC B7006971 がログされる PCI バスエラーを引き起こします。</li> </ul>



た。このエンハンスは前回のブートでコンソールが選択されない場合でも、S1 ポートを指定する代わりにコンソールを再び選択させます。

- コンカレントファームウェアインストール中に SRC BA00E840 が採取されてハングする問題が修正されました。この問題は特定の条件下で SRC BA00E840 が採取されてパーティションマイグレーションがハングする原因にもなります。この SRC はこのファームウェアレベルがインストールされていると採取されてコールホームされますが、無視して構いません。インストール後に SRC は採取されません。
- capacity-on-demand (COD) データがアンカー (VPD) カードから読み込めないフォーマットで検索される問題が修正されました。
- 特定の I/O アダプタで enhanced error handling (EEH) に失敗する問題が修正されました。
- システムブート後、すぐにパーティションを IPL するとシステム停止する問題が修正されました。この問題はパーティションが "autostart" に設定されている場合に発生することがあります。この障害は大容量メモリのシステムで見られる特徴があり、エラー発生時に通常 SRC B181D138 が採取されます。
- スローモードブート中にシステムがコントロール (オペレータ) パネルに C10090B8 のコードを表示して停止したように見える問題が修正されました。
- ハードウェアエラー後にファブリックバスからプロセッサロックが deconfigure される問題が修正されました。
- L2 deconfiguration オプションがサポートされていないシステムで、advanced system management interface (ASMI) に L2 deconfiguration オプションが表示される問題が修正されました。
- GX adapter slot reservation オプションがサポートされていないシステムで、advanced system management interface (ASMI) に GX adapter slot reservation オプションが表示される問題が修正されました。
- FC 1800 or 1802 アダプタの追加に利用できる slot reservations がない場合に誤ったスロットロケーションをメッセージ中に提供する問題が修正されました。
- 潜在的なアダプタの-T#サフィックスを修正する代わりに-Cx サフィックスが埋め込まれた特定のスロットで、enhanced error handling (EEH) エラーが報告される問題が修正されました。これは HMC の System Planning tool に影響を与えました。
- "iSCSI" と "network1" の別名を SMS メニューで不正に生成する問題が修正されました。これはそのデバイスからのシステムまたはパーティションのブートを妨害します。
- 以下のインフォメーションメッセージを誤って OS コンソールへ送る問題が修正されました。

```
subq[5][0] destination address is 0!!!  
Check whether the subq is needed. If it is, allocate MEM.
```
- パーティションマイグレーション中に AIX コマンドの lsvpd がハングする問題が修正されました
- AIX インストール中に iSCSI ブートの後の "Welcome to AIX" パナーでシステムまたはパーティションがハングする問題が修正されました。
- 特定の条件下で iSCSI ログインに失敗する問題が修正されました。この障害発生時、以下のようなメッセージがコンソールに送られます。

```
iscsiFailed to LOGIN to target, rc = 1  
failed to login.  
could not open target 0x9034751 :system04 for r/w, aborting...  
tcpOPEN: iscsi open failed  
!BA012010 !
```
- 634952: オンボード USB ポートに接続したデバイスのロケーションコードが重複したポートサフィックスを持つ問題が修正されました。例えばこの問題発生時、デバイスのロケーションコードは以下ようになります。

```
/usb-scsci@1 U789D.001.DQD GARW-P1-T2-T2-L1
```

正しいロケーションコードは以下のようになります。

```
/usb-scsci@1 U789D.001.DQD GARW-P1-T2-L1
```
- 2つの翻訳問題が修正されました。最初の1つは SMS メニューでサポートされた他の言語に翻訳されるべき時でも、いつも英語で SMS の iSCSI メニューに "No alias" の文字列が表示されます。2つ目は SMS ping メニューの client IP address の NIC (network interface card) パラメータが翻訳されずに英語のメッセージ文字列で表示されます。
- ping テスト失敗したとき、"DEFAULT CATCH!" というメッセージとともに SMS メニューからオープン F/W プロンプトにドロップする問題が修正されました。
- OS が NVRAM のブートデバイスリスト設定から妨害される問題が修正されました。
- IPL 毎に 20-25 個のインフォメーション SRC B7005300 を採取し、エラーログを満杯にする問題が修正されました。
- HMC から HEA 1 Gbps ポートを "100 Mbps/full duplex" に設定できない問題が修正されました。この事象が発生したとき、HMC 上にエラーメッセージは表示されないが、設定は有効になりません。
- HMC に表示されるセカンドポートグループの HEA ロジカルポート情報の中の MAC アドレスが不

	<p>正なアドレスになる問題が修正されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ASMI クライアントが突然クローズされたとき、またはネットワーク障害によりクライアントと ASMI が切断されたとき、SRC B181EF88 でサービスプロセッサダンプが採取される問題が修正されました。</li> <li>マルチ CEC ドロウシステムで phase-locked loop (PLL) クロック障害の FRU 切り分けを向上させました。SRCs B114F6D2, B114F6C1, B113F6C1, B157F12E, B18187EF, and B158E500 が通常この障害で見られます。</li> <li>あるタイプのプロセッサファブリックバス障害を指摘するエラー解析ファームウェアをエンハンスしました。SRCs B114E504, B114B2DF, and B181B10B が通常このタイプの障害で見られます。</li> <li>メモリ DIMM の信頼性を向上するためにファームウェアをエンハンスしました。</li> <li>予報的な SRCs B18138B0, B1813862, or B1813882 をインフォメーションルとしてログ採取するようにファームウェアを変更しました。</li> <li>I/O コントロールハードウェアの初期設定を変更することにより、SRC B131E504 でシステムクラッシュする問題が修正されました。</li> <li>サービスプロセッサのリセット/リロード後にハイパーバイザがハングする問題が修正されました。</li> <li>特定の条件下で InfiniBand アダプタが InfiniBand リクエストへの応答を停止する問題が修正されました。</li> <li>システムファームウェアのインストールが成功した後で SRC B1813014 のログが採取される問題が修正されました。この SRC はこのファームウェアレベルがインストールされていると採取されてコールホームされますが、無視して構いません。インストール後に SRC は採取されません。</li> <li>マルチドロウシステムのクロックカード障害がデバックし易くなり、修正用のパーツも少なくなるように FRU リストを変更しました。</li> <li>サービスプロセッサがリセット/リロードループから抜けられなくなり、システムがブート中からスタンバイになれない問題が修正されました。</li> </ul> <p>一部のシステムに影響するシステムファームウェア変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>EnergyScale(TM) technology を使用したシステムで、サービスプロセッサエラーログに Power Save mode に関するステータス、ログ、エラー情報を入れるようにエンハンスしました。</li> <li>冗長サービスプロセッサを有効にしたシステムで、ASMI の” restore factory configuration” 機能が失敗する問題が修正されました。</li> <li>7314-G30 が接続されたシステムで、InfiniBand I/O デバイスがパケットをドロップし、回復不可能なエラーになる問題が修正されました。</li> <li>7314-G30 が接続されたシステムで、ドロウが InfiniBand loop に関連する稼働時交換に失敗する問題が修正されました。</li> <li>7314-G30 が接続されたシステムで、冗長ケーブルループ内の InfiniBand ケーブルが切断されているときに、パーティションが応答不可になる問題が修正されました。</li> <li>冗長サービスプロセッサを有効にしたシステムで、ブート時間を長時間にさせる問題が修正されました。</li> <li>2つのサービスプロセッサがインストールされていて冗長性が無効のシステムにおいて、セカンダリのサービスプロセッサがプラットホームダンプの後にダンプ状態になりその状態が続く問題が修正されました。</li> <li>冗長サービスプロセッサのシステムにおいて、side-switch IPL の後にインターミットントに採取される SRCs B1813833 and B1813834 のログをインフォメーションルに変更しました。</li> <li>1519-100 タワーが接続されたシステムで、オンボード virtual IOP コネクタのロケーションコードを Un-SE1-T1 と表示せずに、Un-SE1-SE1-T1 と表示してしまう問題が修正されました。</li> <li>特定のケーブル構成で 7134-G30 が接続されたシステムにおいて、ハードウェアトポロジー画面のポートロケーションコードが I/O ポートラベルと合わない問題が修正されました。</li> </ul>
EM320_031	<p>Impact: Availability                      Severity: HIPER</p> <p>追加フューチャと機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>冗長サービスプロセッサのフェールオーバー機能がサポートされました。</li> <li>RIO/HSL アダプタをコンカレントに追加する機能がサポートされました。</li> <li>RIO/HSL アダプタをコンカレントに交換する機能がサポートされました。</li> <li>Advanced System Management interface (ASMI) の power on/off メニューに ”hyper” boot speed がサポートされました。</li> <li>1つの物理プール内に、複数の virtual shared processor pools (VSPPs) を生成する機能がサポートされました。(AIX performance tools が複数の shared processor pools で構成されているシステムに正しい情報を報告するために、AIX 5.3 TL07 or AIX 6.1 以上が動作していること)</li> <li>キャパシティを AIX や Linux から互換性のある他のシステムに最短時間で移動する機能がサポートされました。</li> </ul>

- ・ システムがまだ工場出荷構成で、HMC と最初に接続したときに、拡張 I/O デバイス情報を収集する機能がサポートされました。
- ・ MMA システムで、VPD 採取時間が向上しました。

#### 全てのシステムに影響するシステムファームウェア変更

- ・ ランタイム中のハードウェアオペレーションを行ういくつかの機能で、テンポラリーに extended error handling (EEH) エラーを生成する原因となる問題が修正されました。
- ・ I/O コントロールハードウェアの初期設定を変えることによってシステムクラッシュ (SRC B131E504 で) の原因となった問題が修正されました。注: この修正は、上記の EM320\_031\_031 レベルになく、EM210\_040\_031 レベルに含まれます。
- ・ SRC B1xxB9xx が記録された後、システムが回復するのを防いだ問題が修正されました。
- ・ ファームウェアインストーラーが SRC B1813028 で失敗する原因になった問題が修正されました。
- ・ リブートを伴うファームウェアインストーラーの間、SRC B1818A10 が誤って記録される原因になった問題が修正されました。
- ・ 特定の条件下で、コントロール (オペレータ) パネルのボタンが効かない問題が修正されました。
- ・ 特定の HEA MCS 値を設定した sysplan を使ったシステムプランニングツールが使用できない問題が修正されました。
- ・ SRC B1813108 がシステムブート中に誤って記録される原因になった問題が修正されました。
- ・ 特定の条件下で、InfiniBand アダプタが InfiniBand リクエストに応答しない問題が修正されました。
- ・ HMC 上に "MSGVIOSE0300E002-0154 There is insufficient memory available for firmware (ファームウェアに必要なメモリがありません)" というエラーログが採られる問題が修正されました。
- ・ ハードウェアデバイスドライバ内でタイムアウトの原因となる問題が修正されました。このタイムアウトは SRCs B181B920, B181D147 が原因ですが、B1xxB9xx, B1xxE504, and B150D141 などの他の SRC のログが採取されることもあります。時々システムがクラッシュします。これらの SRC ログが採取された場合、このエラーの発生時間付近で何かリソースがデコンフィギュアされているかを調べ、その場合は ASMI メニューで再度コンフィギュアして下さい。ハードウェア交換は行いません。このエラー状態から回復するために、サービスプロセッサを取り外すことでリセットします。それからシステムを再度パワーオンして下さい。
- ・ マルチドロワの MMA モデルで、L3 キャッシュがディスエーブルの時にテストに問題が見つかった不具合が修正されました。これはとてもユニークで稀な条件下で発生し、キャッシュにデータが上書きされてシステムがクラッシュする可能性があります。この問題の発生はかなり低く、フィールドから障害発生は報告されていませんが、発生してしまうとシステムに与えるインパクトはかなり強いです。できるだけ早くアップグレードすることを推奨します。
- ・ SRC B170E450 でシステムがクラッシュする原因となる問題が修正されました。
- ・ 稀な環境において、特定の例外処理が不適切なためにシステムがハングする問題が修正されました。
- ・ OS が特定の EPOW 状態を検知するのを阻害する問題が修正されました。最終的にシステムまたはパーティションがシャットダウンしてデータが消失します。EPOW 状態とは、以下を含みます; 環境温度が高くなりすぎてユーティリティの電源が落ちる (UPS でバックアップしている場合とそうでない場合)、ユーザが白いボタンあるいは HMC を使ってパワーオフする。
- ・ HMC からのファームウェアインストレーションが、HMC に SRC E302F85C、サービスプロセッサエラーログに SRC B1813088, B1818A0F, or B1813011 が採取されて失敗する原因となる問題が修正されました。
- ・ メモリ保存するリポート中に障害発生した場合に、システムが完了 (パワーオフ) 状態にならずにリポートを継続するように変更しました。
- ・ 特定の I/O アダプタに対して誤って EEH (enhanced error handling) エラーのログを採取する問題が修正されました。
- ・ ガードされたパーツ上の保守対策後のリポート中に、ガードアウトされる "linked" リソースが再構成されない問題が修正されました。
- ・ 7314-G30 I/O ドロワのバックプレーンを交換した後、そのドロワを持つパーティションからそれらリソースが見えなくなる問題が修正されました。
- ・ パーティションとのシリアルコネクションがなくなる原因となった問題が修正されました。これが発生するとサービスプロセッサとハイパーバイザにより SRCs B181D307, B200E0AA, and/or B200813A が生成されます。
- ・ いくつかの環境で、システムに存在しているのに、CD-ROM またはテープデバイスがデフォルトサービスモードブートリストから見えないファームウェアの問題が修正されました。
- ・ 管理対象システムがリポートするときに、HMC が incomplete 状態になり、5 分間隔にサービスプロセッサエラーログに SRC B182953C が採取される問題が修正されました。
- ・ システムがブート中にオンボード USB に接続したデバイスを構成するのをインターミットントに失敗する問題が修正されました。
- ・ あるレベルのメモリコントローラチップで障害を検出した場合に不正にコールアウトする場

	<p>合がある問題が修正されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>システムが障害パーツ(メモリコントローラ、または DIMM)を PRD(processor runtime diagnostics). によってデコンフィギュアせずに、コールホームしてリポートする原因となる問題が修正されました。</li> </ul> <p>一部のシステムに影響するシステムファームウェア変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>マルチドロワ接続のモデル MMA システムにおいて、コントロール (オペレータ) パネル上でピンホールリセットスイッチを使ってシステムをリセットすることができない問題が修正されました。</li> <li>UPS 接続のモデル MMA システムにおいて、電源供給側の障害またはローバッテリー状態の発生を OS に通知できない問題が修正されました。</li> <li>少なくとも 3 つ以上のライセンスプロセッサと 2 つ以上のライセンスなしのプロセッサ搭載のシステムにおいて、normal より遅いか、あるいは SRC C700406E で止まってシステムブート問題が修正されました。</li> <li>7314-G30 I/O ドロワが接続されたモデル MMA システム上において、ある不正なケーブル接続構成の場合に with SRC B70069ED で間違った FRU を指摘し、ハイパーバイザがループする問題が修正されました。</li> <li>多数の I/O が接続されたモデル MMA システムにおいて、さらにタワーがループに加えられたとき、HMC が incomplete state になる問題が修正されました。</li> </ul> <p>本サービスパックに関する追加情報</p> <p>上記の修正に加えて、本サービスパックはまた、発生する可能性が低い障害の修正や、製品を使用する上で既にシステムに必要とされていない、新しく製造されたシステムによくある内容、システム内部インタフェースのエンハンスなどがあります。これらの内容はコンカレントにサービスパックをインストールするシステムではアクティブになりません。</p> <p>既にインストールされて使用中のシステムにとってこの内容は必要ではありませんが、システムを停止して本サービスパックをインストールし、その後 IPL すると、この内容がアクティブになります。</p> <p>この内容をアクティブにするためにシステムを再 IPL する計画を作る必要はありません。</p>
EM310_048	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規リリース</li> </ul>

-----

株式会社 日立製作所 エンタープライズサーバ事業部 2015 年 8 月

-----

(c) Hitachi, Ltd. 2015, All rights reserved.